

気象状況

気象庁の情報

市町村の対応

住民の行動等

Point

備えは大丈夫？



大雨の数日～
約1日前
大雨の可能性が
高くなる

警報級の
可能性

大雨に
関する
気象情報

- 心構えを一段高める
- 職員の連絡体制を確認
- 今後の気象状況に注意

気象情報やハザードマップを確認



- 心構えを一段高める
- 土砂災害警戒区域等の危険な箇所を把握
- 避難場所や避難ルートを確認

大雨の
半日～数時間前
雨が降り始める

大雨
注意報

- 災害準備体制
(連絡要員を配置、防災気象情報を把握)
- 災害注意体制
(避難準備・高齢者等避難開始の発令を判断できる体制)
- 避難準備・高齢者等避難開始
(発表中の注意報に、夜間に警報発表の可能性が高いと記載されている場合)

最新の情報を把握して、災害に備えた早めの準備を

- 発表中の注意報に、夜間に大雨警報発表の可能性が高いと記載されている場合は、土砂災害警戒区域等にお住まいで避難行動に支援を必要とする方は、早めの避難



大雨の数時間
～2時間程度前

大雨警報
(土砂災害)

- 避難準備・高齢者等避難開始
(台風の暴風域に入る前に)
- 災害警戒体制
(避難勧告の発令を判断できる体制)

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は
地元市町村からの避難情報に留意する
とともに「土砂災害警戒判定メッシュ
情報」を確認し、速やかに避難

Point
土砂災害警戒区域等
にお住まいの方は
早めの行動を！



大雨となる

記録的短時間大雨情報
土砂災害警戒情報

- 土砂災害発生の危険度が高まっているメッシュ内の土砂災害警戒区域等に避難勧告
- 災害対策本部設置
- 最大危険度のメッシュ内の土砂災害警戒区域等に避難指示(緊急)



- 大雨警報や土砂災害警戒情報の基準への到達が予想されるメッシュでは、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所に避難

既に重大な災害が発生していてもおかしくない極めて危険な状況

- 避難しようとしたときに屋外に出るとかえって生命に危険が及ぶと判断した場合は、少しでも命が助かる可能性が高い行動として屋内の高いところで山からできるだけ離れた部屋等で待避

広い範囲で
数十年に一度の
大雨

大雨
特別警報
(土砂災害)

- 特別警報の住民への周知
- メッシュ情報を参照し、避難指示(緊急)等の対象区域を再度確認



- 数十年に一度のこれまでに経験したことがないような異常事態
- 地元市町村からすでに発令されている避難情報に直ちに従うなど適切な行動を！
- これより前の段階で、最大危険度のメッシュが出現するまでに避難を完了しておくことが重要